



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

アフガニスタン：カルザイ大統領の大統領立候補登録 (5月4日付 PAJHWORK 通信)

4日付 PAJHWORK 通信は、カルザイ大統領の大統領選挙立候補登録について報じている。概要は以下のとおり。

1. カルザイ大統領は、副大統領候補者名とともに大統領選挙の立候補登録を行った。同大統領は、ハリーリ現第二副大統領及びタジク人野戦司令官で国防大臣を務めたファヒーム氏を次期副大統領に選んだ。
2. ファヒーム氏は次期政権においてジハード（イスラーム聖戦）の経験を活かしたいと述べた。暫定政権当時、ファヒーム氏は、ラバニ率いる反カルザイの国民戦線に加わるまでは国防大臣を務めていたが、カルザイ大統領がアブドッラーを外務大臣に指名した後、多種多様な代表により形成されるカルザイ政権を辞任した。
3. ハリーリ第二副大統領は、次期副大統領候補に選出された事を喜ぶとのメッセージを出した。同副大統領は、カンダハール出身の現大統領を継続して支持すると述べた。
4. 数名の閣僚経験者、テクノクラート、知事及びアフガン系の元米国大使が、選挙への参加を検討していると言われており、アブドッラー前外相、アハディ前財相、アシュラフガー二元財相、ハリルザード前米国連代表が予想される対抗馬の中に含まれている。
5. アフガニスタン憲法第62条によれば、大統領候補者は他国の国籍を有しないアフガン国民でなければならない。また如何なる大統領も選挙日までに40歳以上の年齢であり、イスラーム教徒でなければならない。